分娩申込書

赤太枠内をご記入ください

医療法人社団紡世会　かわぐちレディースクリニック　院長　殿

本人署名 (胎児の母親)		診察券番号	
住所	〒　　-		
生年月日	昭和 ・ 平成 ・ 令和 ・ 西暦　　年　　月　　日		

申込者

この度、貴院に分娩申し込みをすることになりました。つきましては入院に関する指示事項は順守しますとともに、入院料、治療費その他の費用については、貴院にご迷惑をかけません。
なお、寝具類その他の貴院備品等を滅失又は損傷した場合には実費弁済いたします。入院病室の希望に添えない可能性があることも承知致します。医学的に必要な転院を除き、自己都合によるキャンセル・転院の場合には予約金がキャンセル料として徴収されることを了承します。

申込日	西 暦　　年　　月　　日		
本人署名 (胎児の母親)	印	家族署名 (胎児の父親)	印
住 所	〒　　-		
電話番号		※認印をお持ちであれば認印での押印 ※認印がない場合は、拇印（指紋）で代用	

身元引受書（兼　連帯保証書）※配偶者以外

入院患者氏名 (胎児の母親)	

上記の者が貴院に入院するにあたり、私(当方)は、本人の身元に関する一切の事項を引き受けます。
また、患者が貴院において受診または入院するにあたり、私は身元引受人としての責を負うとともに、患者が貴院に対して負担する一切の金銭債務(診療費、入院費、損害賠償、弁護士費用等を含む)について、患者と連帯してこれを保証いたします。保証の限度額は金2,000,000円とします。
さらに、退院を命ぜられた場合には、指定された日に患者を引き取り、また患者の転居等があった場合には、速やかにその旨を届け出ます。

申込日	西 暦　　年　　月　　日		
身元引受人氏名	印	患者との続柄	
住 所	〒　　-		
電話番号		※認印をお持ちであれば認印での押印 ※認印がない場合は、拇印（指紋）で代用	

緊急に備えた安全管理システムについて

分娩監視装置およびセントラルモニタシステム

かわぐちレディースクリニックでは最新のモニタリングシステムを導入しています。
NST室、分娩待機室、LDRの患者様にセンサーを装着することで、胎児心拍と子宮収縮の測定を行い、そのデータを病棟のスタッフステーションおよび外来診療中の医師が常に見られるようにセントラルモニタシステムを導入しております。

監視カメラと生体モニタ

より安全な出産のため、手術室とLDRの患者様の様子をカメラで映像モニタおよび生体モニタで管理しております。
これは、患者様の容体急変にいち早く対応するためのもので、室内のほぼ全体を映した映像が病棟のスタッフステーション内のモニタと外来診療中の医師が視認できるようになっています。
この映像モニタ画面は、プライバシー保護の観点から、顔が認識できないよう常時ぼかしを入れ運用しています。
また、記録されたデータは、内規で定められた期間、保存しております。



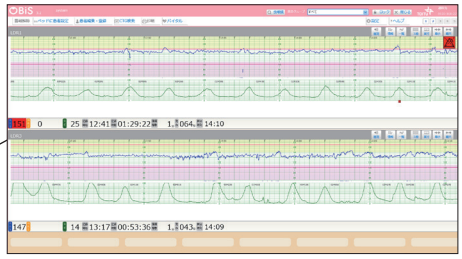
映像モニタ(LDRの拡大画像)
※「かわぐち」という文字がぼけています。



新生児室は24時間監視モニターによって
守られています。



スタッフステーションのセントラルモニタシステム



NST(胎児心拍と子宮収縮の測定)



生体モニタ(イメージ)

館内セキュリティ

かわぐちレディースクリニックの病室は扉を閉めた時に鍵が自動で施錠できるオートロックシステムを採用しております。病室をはじめエレベーターや階段扉等もカードキーがなければ入れません。



カードキー

キリトリ線を切り取って、ご提出ください

医療法人社団紡世会　かわぐちレディースクリニック　院長　殿

□「緊急に備えた安全管理システムについて」の内容を理解し、承諾いたします。

同意いただける場合は上記(□)にチェックをお願いします。
同意いただけない場合はかわぐちレディースクリニックでの分娩はお受けできません。

太枠内をご記入ください

記入日	西暦　　年　　月　　日		
本人署名 (胎児の母親)		家族署名 (胎児の父親)	

臨床研究・臨床データ収集へのご協力に関するお願い

かわぐちレディースクリニックで出産される妊婦のみなさまへ

かわぐちレディースクリニックでは、日々新しい医療情報を学び、患者さまに最新かつ最善の治療と質の良い環境を提供するよう日々努めています。それでも、分娩にまつわる病態はすべてが解明されているわけではなく、また、より良い医療体制を構築することは、まさに日進月歩であり、新しいことに気が付いたら、それを考え、共有し、討論する臨床研究が必要となります。また、医療は技術を継承し高いレベルの質を保つ必要があるため、次の世代を育てるために、ときに先輩指導者が新しい医療者の教育を行う場の提供をお願いすることがあります。

私達は、みなさまの診療記録を基に医学的事象の検討や検査並びに治療の過程で得られた超音波画像、血液・生化学検査、手術標本など医学的な記録を臨床研究の目的にも使用させていただく場合があります。そして臨床の場を次世代の指導に使用させていただく事もあります。
また、集められたデータは出生数、出産方法、出産週数などに解析され、国や学会への報告を行い周産期情報の推移として集積されていきます。
みなさまのご理解とご協力をお願いいたします。

なお、臨床研究や実習に医学的な記録を使用する場合は、下記内容を厳守し実施いたします。

記

1.使用目的:
臨床的に必要な診療データを集積して、検討、解析することにより、今後の病気の診断や治療の向上に役立てることを目的とします。

2.プライバシーの保護:
研究やデータ集積や検討解析の結果は、国への出産数の報告や、学会や医学雑誌などに発表する可能性はありますが、患者さまの氏名をはじめ全てのデータを匿名化する処理を行い、個人の特定に繋がる情報は一切公表されません。

3.診療記録を使用する場合:
診療記録を使用する場合は、患者さまの診断や治療に直接影響することはありません。

4.臨床実習を行う場合:
臨床実習を行う場合は、かならず責任者が同伴し、医療の質を担保します。

5.費用:
患者さまのご負担はありません。またデータを使用したこと、実習を行わせていただいたことへの謝礼はありません。

✂ キリトリ線を切り取って、ご提出ください

医療法人社団紡世会　かわぐちレディースクリニック　院長　殿

☐ 臨床データの集積の意義を理解しました。臨床研究データの集積、報告の際にはこれを許可します
☐ 臨床データの検討解析の意義を理解しました。学会への症例報告が必要な場合はこれを許可します
☐ 臨床実習の必要性を理解しました。臨床実習が必要な場合はこれを許可します

同意いただける項目すべてにチェックをお願いいたします。 **意思確認のため書類の提出をお願いいたします。**
臨床研究データの集積については、学会や国へ分娩件数の報告や周産期合併症の報告がありますので、必ず許可いただいています。
同意いただけない場合は国に出生数などの正確な報告ができなくなるためかわぐちレディースクリニックでの出産はお受けできません。

太枠内をご記入ください

記入日	西暦　　年　　月　　日		
本人署名 (胎児の母親)		家族署名 (胎児の父親)	

埼玉県の周産期システムについてご案内

本院および分院で妊婦健診を受診される患者さまへ

かわぐちレディースクリニックは埼玉県川口市に所在地があり、埼玉県の周産期システムに基づいて診療を行っております。
そのため、妊娠中に何かしらの合併症（切迫早産、妊娠糖尿病、妊娠高血圧症候群など）が生じた場合に、高次医療機関へ紹介、または搬送を行う場合には、管轄が川口市となります。

紹介先は主に「川口市立医療センター」もしくは「済生会川口総合病院」となり、管轄地域内で収容が難しい場合には埼玉県全域での調整に移ります。
遠方からお越しの妊婦様でも、行政区分を超えて、かわぐちレディースクリニックが独自に搬送の調整をすることは承りかねます。
医学的理由で転院になる場合には、本人のご希望の病院に転院することはできず、また無痛分娩などを行えない施設での出産になることをご理解ください。
埼玉県の周産期システムについてご理解ご協力をお願いいたします。

分院で妊婦健診を受けていただいている患者様に関しましても緊急時はかわぐちレディースクリニック（本院）の受診と上記システムとなることご承知おきください。

キリトリ線を切り取って、ご提出ください

医療法人社団紡世会　かわぐちレディースクリニック　院長　殿

埼玉県の周産期システムについて理解しました。

太枠内をご記入ください

記入日	西暦　　年　　月　　日		
本人署名 （胎児の母親）		家族署名 （胎児の父親）	

妊娠中の超音波検査について

妊婦健診時に行う超音波検査には、通常の妊婦健診で行う超音波検査と胎児精密超音波検査があります。

通常の妊婦健診で行う超音波検査

この検査は胎児の異常を見つけるものではなく、3～5分程度の時間で、胎児の心臓が動いているか、児頭の大きさや推定体重などが順調に発育しているか、胎位(頭が下なのか、逆子なのか)の確認を行います。
この検査でも、胎児の形態異常(疑いを含む)が発見されることがあります。

胎児精密超音波検査

胎児の形(頭部・胸部・腹部・手足骨格)・胎盤・羊水量に異常がないかどうかを調べます。通常の妊婦健診で行う超音波検査よりも時間をかけて細かく検査を行います。異常が認められても医学的には問題のない(個性の範囲)軽微なものから、胎児期や生後に治療が必要な病気まで、さまざまな重症度の病気が見つかることがあります。

妊娠による胎児の変化

子宮や胎児は妊娠期間を通じて変化をしていきます。妊娠初期に認められなかったものが、妊娠中期、後期になると超音波で認めるようになることもあります。したがって適切な時期に検査を行う必要があります。

超音波検査の限界

超音波検査は胎児の形態をみる検査です。そのため形態に現れない病気(発達障害や精神病、脳性麻痺、遺伝性疾患など)を見つけることは困難です。また染色体異常については、形態異常を伴うものは可能性を示唆することができますが、確定をすることはできません。またその時の胎児の体位・体勢から形態異常が存在しても診断できない可能性があります。形態異常の少ない染色体異常は見つけることができません。超音波検査後に生じる病気(脳出血など)は見つけることができません。また、異常を早期に発見しても、胎児の生命を助けられない病気もあります。

超音波検査を行わない項目

胎児の首のむくみについて、NT(nuchal translucency)と呼ばれ、心不全、染色体異常を示唆する項目の一つですが、NT単独で評価に用いることはありません。母体年齢や母体血清マーカー試験とのさまざまな組み合わせによりダウン症候群の発生危険率が算定されていますが、検査の組み合わせは施設により差異があって必ずしも一定していません。またNTが正常だからと言ってダウン症を否定することはできません。本院および分院では不確定な検査 のNT測定は行っていません。

異常が見つかった場合

形態異常が見つかっても、出生直後より医療介入が必要なもの(出生直後より治療を行わないと助けられないもの)、出生後しばらくしてから治療を開始するもの。軽微な異常で治療を要さないもので対応が変わりますが、胎児の治療を受ける権利保護の観点から、特別に申し出がないかぎり胎児の生命予後に関係しない異常を除いてお伝えします。

生まれながらに病気を持つ新生児について

多くの赤ちゃんは問題なく生まれてきます。しかし中には生まれながらの病気を持つ赤ちゃんがいます。出生前に診断がついていると、早期に医療介入をすることができ、予後を改善できる可能性があります。
私どもは、胎児に形態異常が見つかった場合、高次医療機関と連携を取りながら、見つかった疾患に応じて、治療の方法や時期、出産場所や出産方法などを検討し、ご提案いたします。

知る権利と知らない権利

出生前にご両親が赤ちゃんに関する形態異常や染色体異常の可能性を示唆する情報を知った場合、ご両親・ご家族に様々な葛藤が生ずるとされています。私どもはできるだけご両親の意思にそった検査結果を説明したいと考えています。そのため、検査を行う前に、超音波検査で見つかった異常について知りたいか知りたくないかを教えてください
なお、特別な申し出がない限り、私どもは見つかった形態異常についてお話しします。

キリトリ線を切り取って、ご提出ください

医療法人社団紡世会　かわぐちレディースクリニック　院長　殿

妊娠中の超音波検査について、内容と必要性を理解しました。

☐ 胎児に生後すぐ(出産直後)の治療介入が必要な状態を含め、異常が見つかった場合、必ず告知を受ける必要性を理解し告知を希望します
同意いただけるようでしたらチェックをお願いいたします

かわぐちレディースクリニックでは胎児の治療を受ける権利保護の観点から出生直後に医療介入が必要な告知について同意を頂けない方の分娩予約をお受しておりません。NICUのある高次医療施設での管理をお勧めします。

太枠内をご記入ください

記入日	西暦　　年　　月　　日		
本人署名 (胎児の母親)		家族署名 (胎児の父親)	

緊急帝王切開時の対応について

かわぐちレディースクリニックで出産される妊婦のみなさまへ

経腟分娩を行う全ての人に、帝王切開になる可能性があります。
かわぐちレディースクリニックでは初産婦の方の約15%、経産婦の方の約1%の方が経腟分娩から帝王切開になっています。帝王切開になる原因は、何かしらの理由で胎児の心音が下がったり、分娩が止まったり、または感染がおこったり様々あります。しかし、帝王切開は経腟分娩の失敗ではありません。生まれたお子様が、その後に元気に成長してもらうための出産方法のひとつです。
緊急帝王切開には、緊急帝王切開と超緊急帝王切開と2つのパターンがあります。

緊急帝王切開

緊急帝王切開が必要だが、ある程度の時間待てる場合をいいます。
分娩が止まったり、胎児の心音が少し下がったがその後回復したりした場合です。
この場合は緊急帝王切開でも、事前の説明をおこない、準備をしっかりと整えて安全第一で帝王切開を行います。

超緊急帝王切開

胎児の心音が持続的に低下をした場合に行います。
大人で言うと首が閉まった様な状態のため、1分1秒でも早く胎児を子宮外に出し、赤ちゃんの蘇生を行うこと(新生児蘇生)が必要です。
赤ちゃんを救うためにスピード重視で全てが最低限の準備で始めないとなりません。
そのため帝王切開の母体に対するリスク(感染や出血)なども緊急帝王切開に比べて高くなります。
また、状況の説明や手術の説明をゆっくりと行う時間はなく、口頭で「超緊急の帝王切開が必要です」の一言しか宣言できません。
超緊急帝王切開が必要となった場合は、状況が落ち着き、赤ちゃんと母体の安全が確認されたら、なぜ超緊急帝王切開が必要だったのか状況の説明や、手術や赤ちゃんについての説明をさせていただきます。
ご自身の赤ちゃんの安全を守るため、超緊急の帝王切開の対応について事前にご理解ください。

キリトリ線を切り取って、ご提出ください

医療法人社団紡世会　かわぐちレディースクリニック　院長・担当医　殿

☐ 超緊急帝王切開が必要な時には口頭による手術の宣言を受けることに同意します
同意いただけるようでしたらチェックをお願いいたします

太枠内をご記入ください

記入日	西暦　　年　　月　　日		
本人署名 (胎児の母親)		家族署名 (胎児の父親)	

救命が必要な緊急時における、輸血および血漿分画製剤に関する説明書

日本に妊産婦死亡はおよそ年間40例と報告されおり、産科危機的出血が死因の第1位となっています。
産科出血に対する異常の早期発見及び適切な処置は母体の救命に大きく寄与します。
緊急輸血や血液分画製剤の使用は、急に発症した産科DICや大量出血で母体が出血性ショックの状態にあり、 直ちに輸血を開始しなければ救命が困難な状況に陥る可能性があると判断したときのみとします。ただし、緊急事態においては医師から本人や御家族に説明する時間も得られないことが予想されるため、この説明書は緊急対応時に書類が無いために必要な救命処置が取れないのを伏せず目的で事前説明を行っています。出産前によく読んでいただき、判らないことがあれば担当医に質問してください。

1. 緊急赤血球輸血

製品名：赤血球液－LR「日赤」（O型）　　投与量200～400㎖　　費用200㎖～4,920円：（保険診療）

通常の輸血を行う際には、血液型適合試験など交差適合検査という手順を踏んで安全性を確認の上で行いますが、分娩時の大量出血により輸血を必要とし、かつ通常の輸血検査を行う時間的余裕が無い場合には、 母体の救命を最優先として院内常備の**O型の赤血球製剤**を緊急輸血します。

輸血による副作用

(1) 急性溶血性輸血副作用

輸血後24時間以内に、発熱、黄疸やヘモグロビン尿が観察されます。重症例では腎不全を起こして死亡することもあります。ほとんどの原因はＡＢＯ不適合輸血 (表1) によるものですので、緊急時に常備O型の赤血球を使用する緊急輸血で 輸血過誤による急性溶血性輸血副作用の危険性は大幅に低減化されます。

表1 赤血球ABO不適合輸血の例

患者ABO型		輸血した血液のABO型
O型	←	A型,B型,AB型
A型	←	B型,AB型
B型	←	A型,AB型

(2) 遅発性溶血性輸血反応

緊急輸血では不規則抗体陽性者に抗原陽性血を輸血する危険性があります。事前に不規則抗体がある方とわかっていても、救命に時間的余裕が無い場合は抗原陽性血を輸血せざるを得ません。抗原陽性血を輸血した場合の副作用として、溶血反応があります。多くの場合は輸血後1～2週間後に起きます。

(3) 母体Rh陰性の場合

Rh 陰性血の在庫はかわぐちレディースクリニックにはありません。救命に時間的余裕が無い場合は Rh 陽性血を輸血せざるを得ません。 Rh陰性の方にRh陽性血を輸血した場合は、輸血後に抗Rh抗体を産生するようになることがあり、次回、Rh陽性の胎児を妊娠した場合は妊娠継続が難しくなることがあります。

その他の副作用

一般的な副作用としては、輸血感染症（肝炎ウイルス、エイズウイルス等)、 急性アレルギー反応、 輸血後GVHD、輸血関連急性肺障害があります。

2. フィブリノーゲン製剤

製品名：フィブリノゲンHT1g　　投与量3～6g　　費用1gあたり55,000円 (自費診療)

大量出血を認めた場合、早期にフィブリノーゲン因子を補充することで、母体の生命予後を改善することができるようになりました。かわぐちレディースクリニックではフィブリノーゲン迅速測定機器を導入しており大量出血時に、その重症度を早期より判断できるようにしています。　これにより、産科危機的な出血のみならず、予想外の常位胎盤早期剥離、羊水塞栓といった重篤な産科合併症が起きでも、重症度の判定が可能となり、治療の診断基準を満たした場合には、救命の目的のため早期よりフィブリノーゲン製剤を投与することが可能となっています。フィブリノーゲン測定の有用性がすでに証明されているものの、日本全国の一次分娩施設におけるフィブリノーゲン血液製剤の投与は、現在は保険給付外で自費での使用材料になります。

3. アルブミン製剤

製品名：献血アルブミン5% (250ml/本)　　投与量1〜2本　　費用1本あたり1,280円 (保険診療)

アルブミン製剤は、大量出血時に血圧を安定させるなどの効果があり、また、妊娠高血圧症候群の術後による血管内脱水や術後肺水腫の症状を速やかに改善する効果があります。術後低蛋白血症、肺水腫、全身浮腫著明の症例には投与を行うことがあります。

4. 血液凝固阻止剤

製品名：ノイアート静注用 (1500単位/本)　　投与量1回　　費用1本あたり16,570円 (保険診療)

常位胎盤早期剥離、重篤な分娩後出血などの重篤な産科出血症例に、産科DICを治療するために血液製剤である**アンチトロンビンIII**を投与することがあります。

上記2〜4の血液製剤はすべて**「特定生物由来製品」**と分類されており、これらの製品とは主に人や動物の血液に由来するものを原料としており、原則として緊急時に使用が必要と判断した場合のみ投与を行います。血漿分画製剤は、技術の進歩とともに安全になってきましたが、それでも副作用や合併症 (関連して起こる別の病気や病症) をまだ100%完全に避けることはできません。現在、血漿分画製剤による感染症 (B型肝炎、C型肝炎、HIV感染症、成人T細胞性白血病ウイルス (HTLV-1) 感染、細菌感染など) の危険性は低くなってきましたが、皆無とは言えません。また、変異型クロイツフェルト・ヤコブ病の原因とされる異常プリオンなどの新しい病原体や、未知の病原体による感染症のリスクを、完全に否定することもできません。さらに、投与することで免疫反応 (じんましん、発熱、アナフィラキシーショックなど) が起こることがあります。

かわぐちレディースクリニックでは産後の管理として輸血や血漿分画製剤のルーチン投与は行っておりません。繰り返しになりますが、分娩時に大量出血や予想外の産科合併症が発生し、母体生命の危機に及ぼす恐れがあると判断した場合、上記の緊急輸血や血漿分画製剤を投与することがあります。
なお、副作用と輸血の因果関係を証明できる場合、「特定生物由来製品感染症等被害救済制度」を受けることができます。そのため輸血後3ヶ月程度をめどに採血検査をすることが推奨されます。

※以上の説明について、ご質問等ございましたら担当医におたずねください。

母体急変時の対応について、上記説明をご理解の上、同意される場合は、下記に署名してください。
また、不安や疑問などがありましたら、いつでも医師にご相談ください。

✂ キリトリ線を切り取って、ご提出ください

医療法人社団紡世会　かわぐちレディースクリニック　院長　殿

このたび救命が必要な時に、輸血や血漿分画製剤の使用が必要なことを理解しました。
救命が必要な緊急時には輸血および血漿分画製剤の投与を受けることに同意します。

太枠内をご記入ください

記入日	西暦　　年　　月　　日		
本人署名 (胎児の母親)			
親族署名		患者との続柄	